



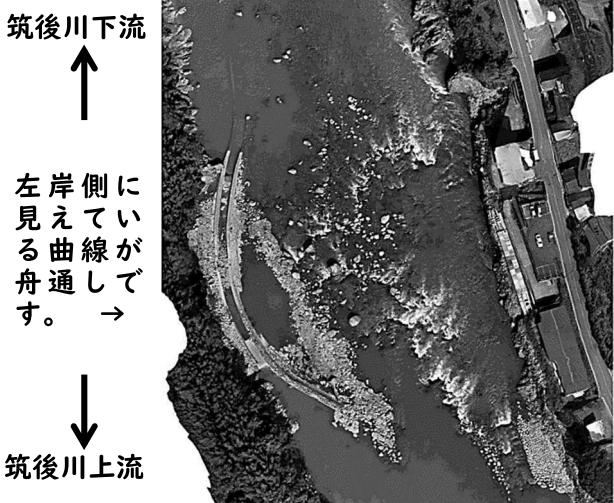
夜明ダム水没遺構(袋野堰と筑後軌道)

現在、夜明ダムの水門が開けられ、ダム底に沈んでいた袋野堰と筑後軌道石垣の一部を見ることができます。袋野堰は江戸時代前半、今から350年以上前に作られました。当時の取水口と舟通しが残っています。

また、筑後軌道は、明治時代後期に久留米一日田間を結ぶ交通機関として開設されました。吉井町の町中を蒸気機関車が走っていたんですね。その時の線路面の法面石垣が残っているのです。

日田側の国道386号線から見ることができます。ダムの水が貯まってしまうとまた水没してしまいます。期間限定です。お時間があれば、当時にタイムスリップを…。

※と、個人的に気になっていることをお知らせしました(^_^;)



(上の写真は「土木史研究講演集 vol.38 2018年『夜明ダム水没遺構の歴史と現在 一袋野堰と筑後軌道一』より）

2学期を振り返って…

2学期の半分は暑さへの対応、半分はインフルエンザへの対応…と、今年も色々と大変な2学期でしたね。でも、子ども達は、元気に学校を楽しみ、自分の「好き」を創り出した2学期でした。

まずはやっぱり学習の積み上げです。知識や技能を受け身に習うのではなく、「自分の問い」をもって、その解決に向けて、「自分

で」、「友だちと」、「先生と」と、自分らしい方法で取り組む学習の仕方を学んできました。本校では、分からぬことを、「分からぬ」とはっきり言うことを大切にしています。なぜなら、「分からぬから、分かりたい」と願うことから勉強は始まるからです。

運動会も同じで

すね。観に来てくれる家族を「感動させるには、どうするか?」、「家族に喜んでもらうには、自分はどんな演技をすべきか?」という問い合わせをもって運動会に臨みました。そして、多くの方に観て頂き、拍手を頂きました。歓声をもらいました。

11月は、秋の遠足。自分で行き先を選んで秋を感じながら歩きました。

12月には、3年生が人権フェスティバルで「差別をしない、させない」ことを歌、呼びかけて市民の皆さんに堂々と伝えました。

また、2学期の締めくくりとして6年生が修学旅行で、平和を学び異国文化に触れる体験をしました。

長い2学期、様々な行事がありましたが、日常の何気ない学校生活を通して、学び方を身に付けたり、人間関係を学んだり、運動したり、遊んだり…そういう中で心と体が成長する、という貴重な時間であったと感じています。

令和7年(2025年)も大変お世話になりました。来年、午年も皆様にとって豊かで幸せな年でありますように。良いお年をお迎えください。



【友だちと学ぶ】



【先生と学ぶ】



【漢字検定頑張る1年生】